

## 議員全員協議会

全議員に重要な取り組みの説明がありました

9月定例会以後に行われた議員全員協議会において、18件の議題について説明がありましたが一部の内容や質疑をご紹介します。

10月20日

## 新機能都市開発事業の 進歩等について

施設規模	販・サービス、温浴施設
敷地面積	約15ha
延床面積	約10000坪
駐車台数	約1200台

切土工事において、想定外の中硬岩が出現したため、その対応等による工事の遅延等について説明がありました。事業費増は業務代

行者で対応し、事業期間の延伸についても、換地処分、組合の解散時期の変更を行います。

主なQ&A

**A** Q 工事の遅れで、企業進出にスクが生じるのではないか。  
A 進出企業の意向に沿って対応したい。

## 平良丘陵開発観光・交流エリア 基本計画の進捗等について

宿泊施設  
商業施設約 150  
80 店舗 (飲食・物  
200 室

# 平良丘陵開発観光交流エリア

導入施設について、より具体的な整備内容等の説明がありました。

① (約0.2ha) は売却し基金へ償還。  
② (約3.5ha) は事業候補者へ貸付。  
導入施設は新たに土地 (約2.4ha) を取得して整備。

**導入施設**

- ・にぎわいゾーン 公園、緑地、駐車場、木育体感施設
- ・交通結節ゾーン 交通広場

主なQ&A

**Q** 事業候補者が資産の一部を星野リゾートに譲渡したとの報道があるが、(株)アクアイグニスと

**A** 西松建設株から市へ情報提供は。情報提供は受けている。譲渡は民間の不動産運用手法の一つ

は民間の不動産運用手法の一環であり、本事業への影響はない。

**Q** 市の土地の一部は貸借するのに、なぜ新たに別の土地を購入するのか。

**A** 市の換地 3.5 ha は貸し付け、2.4 ha を別途購入することで大きな  
メリットが生じる。貸借するこ

#### 換地された市の土地の活用及び導入施設の敷地



とで一定程度の関与が可能となり、補助制度の活用など、より有利な方策を考える。

# 第2次廿日市市保育園再編基本構想（案）について

本構想（案）について

少子化の加速が予想される中、待機児童対策としての「保育の量の拡大」から、「質の高い保育の提供」に転換を図る必要があり、令和8年度から10年間の保育施策の方向性などを明確にするものです。構想では、民間移管予定園を佐方保育園（※⑥）（公私連携型I）、池田保育園（※⑥）（公私連携型II）とする」とや、老朽化する保育園の統合や建て替えの検討、佐伯地域の保育園再編に着手すること、保育の中心的な役割を担う基幹園を設置する方針も示されました。

※ 基幹園…平良・宮内・深江保育園

佐伯地域は今後検討

**A 経費は他の子育て施策にも充てる必要があり、市全体にとって何がいいのかを考え判断する。**

**Q 公立保育園の民営化はすべきではないがどうか。**

**Q 今、公私の割合が1対1.6である。この状況で進めていくのか。**

**A 当初計画では1対2と掲げていたが、民間の増で令和6年度に1対2.4という比率となつた。**

**A 主なQ & A**

その他 政策方針関連

- ・米の値上げに伴う学校給食費の対応（12月補正対応）
  - ・福祉健康増進保養センター（ス

## ・都市計画マスターplanの改定 (案)

この計画には盛り込んである。  
計画を推進する中で深めたつ。

## その他の議題

- # 中期財政運営方針 定員管理計画 行政経営改革指針 観光振興基本計画 (案)

常任委員會議題

## 文教厚生常任委員会

※基幹園…平良・宮内・深江保育園  
佐伯地域は今後検討  
心的な役割を担う基幹園を設置する方針も示されました。

## その他 計画策定状況等

- ・宮島包ヶ浦自然公園利活用に係る進捗状況等
  - ・その他 条例制定等
  - ・再生可能エネルギーと地域との調和に関する条例（仮称）の概要
  - ・第2次産業振興ビジョン（案）  
その他の 計画策定状況等

産業建設常任委員会

- ・市民センター基本方針（案）
  - ・文教厚生常任委員会連合  
　・第4期教育振興基本計画（案）  
　・文教厚生・総務常任委員会連合  
　・生涯学習ビジョン（案）
  - ・産業建設常任委員会

主なQ&A

**A** 経費は他の子育て施策にも充てる必要があり、市全体にどうして何がいいのかを考え判断する。

**Q** 今、公私の割合が1対1.6である。この状況で進めていくのか。

**A** 当初計画では1対2と掲げていたが、民間の増で令和6年度に1対2.4という比率となつた。

**Q** 公立保育園の民営化はすべきではないがどうか。



主なQ&A

本市の、子ども・若者への支援をさらに充実させていくため「第3期廿日市市子ども・子育て支援事業計画」（令和5年策定）を包含する「廿日市市いじめ計画」を策定するものであります。

内ルートの運行事業

- ・市民センター基本方針（案）
  - ・第4期教育振興基本計画（案）
  - ・生涯学習ビジョン（案）
  - 文教厚生常任委員会連合
  - 文教厚生・総務常任委員会連合
  - ・生涯学習ビジョン（案）
  - 産業建設常任委員会
  - ・さくらバス阿品台ルート及び宮内ルートの運行事業者の変更

**Q** 中学生までや子育て世代への対応は濃いが、高校生・大学生と、子育て世代になるまでの若者へのサポートが弱いのでは。

**A** 中学生までや子育て世代への対応は濃いが、高校生・大学生と、子育て世代になるまでの若者へのサポートが弱いのでは。子ども・子育て支援事業計画では0歳から18歳までを対象としている。高校生年代や、30歳未満への支援が薄い感じがあり、努力義務ではあるが、

# 産業建設常任委員会協議会

## ・令和6年度広島県水道広域連合 企業団水道事業会計決算等